

## 第 21 話・畳の上でロリっ娘がおしっこ

これは、私が学生のとときに同級生の自宅で遊んでいたときの目撃談です。

友達の家で皆でファミコンをして遊んでいたのですが、ふと気が付くと家主である男友達と途中まで一緒に遊んでいたロリっ娘がいつの間にかいなくなっていました。どこに行っただろう…と皆で各部屋を覗いてみると、なんとロリっ娘と男友達が全裸になり、エロ本をベッドの上に広げながらSEXの真似事をしていました。その頃の私は性知識に乏しく、何をやっているのかさっぱり解らず、しかし同級生のロリっ娘が全裸で腰を動かしている様は衝撃的でした。

その様子を他の男友達も発見し、「エローイ！」とか「お前ら何やってるんだよ」とか冷やかしを始めました。どうやら、お父さんのエロ本を発見したその男友達は、興味本位でロリっ娘に「大人はこんなことするんだぜー」という感じで誘ってすっぽんぽんにしてみたいです。後日談によると、実はこういうことは日常茶飯事だったらしく、なんとも羨ましい男友達でした。

ギャラリーが集まってくると、ロリっ娘は腰を動かすのをやめて「ねえ、アタシおしっこしたい」と家主である男友達に声を掛けました。すると、その男友達は「そこでしていいよ」と皆が立っている畳の上を指差し、何食わぬ顔。

『部屋の中でおしっこ！？』と私が驚いていると、そのロリっ娘は迷いなく私達の近くまで歩いてきてしゃがみ込み、しゅいー！と勢いよく畳に向かっておしっこを開始しました。

全裸の同級生ロリっ娘がこんな所でおしっこなんて…！と興奮をし、私の息子はビンビンになってしまっていました。

畳って、最初はおしっこが溜まるものの、しかしすぐに井草に吸収されて水溜りがあまりできないのです。なので、男友達はよく畳の上でおしっこをしていたみたいだし、そのロリっ娘にも普通におしっこをさせていたみたいです。不思議とアンモニアの臭いはしませんでした。でも、この友達の親が知ったらびっくりするでしょうね。まさか、自分の息子のロリっ娘友達が、家の畳の上でおしっこをしていたなんて。

そのロリっ娘、体系はむっちり体系で、ワレメはとても深く、いわゆる『上付きワレメ』というものでした。そして、ロリっ娘はワレメのある股間を私達に見られても別段恥ずかしがる様子はありませんでした。それどころか、おしっこが終わるとベッドに戻り、シーツで股間のワレメをごしごしと拭いて、また男友達のち○ちんをいじっていました。今考えると未恐ろしい、いや素晴らしい才能の持ち主のロリっ娘です。今や二人の子持ちのこのロリっ娘、当時のことは覚えているのかなあ。

**END**

## **第 22 話・部屋の前はロリっ娘達の野しょんスポット**

団地住まいだった私の部屋の前には背の高い植木があり、実はそこがロリっ娘達の野しょんスポットになっていました。ロリっ娘達はこぞって私の部屋の前まで来て野しょんをしていくので、その様子を部屋の窓からこっそりと、しかしじっくりと拝見させてもらったものです。

「ここしょんべん場にしょー！」という声が聞こえてくるとチャンス！と思ったものでした。男女混合で遊んでいるグループは、たびたび私の部屋の前を「しょんべん場」に指定してくれて、窓から多数の放物線やワレメを見ることができる恵まれた環境でした。まあ、おかげでアンモニア臭はすごかったですが（笑）。

一番興奮したのは、「女子がおしっこするから、男子はこっち来ちゃだめだよー！」というリーダー格のロリっ娘の号令と共に、3人のロリっ娘が植木の裏、つまり私の部屋の窓の真ん前に股間を押さえながら入ってきたときです。3人とも可愛らしいロリっ娘で、それぞれスカートやズボン姿で個性が出ておりました。そして、そのロリっ娘達が植木に完全に隠れると、パンツとズボンを一斉に下し、私が見ている窓の方に向かって大股を開いて3人同時に野しょんを開始します。ワレメの付き方も、おしっこの放物線の描き方もそれぞれ違い、ああ女の子って色々な形があるんだなあと思いながら部屋の中で息子をしごいていました。

背の高い成長したロリっ娘もたびたびその場所で野しょんをしてくれました。少しだけ窓を開けておくとぷしいー！ という勢いのよいおしっこ音が聞こえてきます。ちなみに、どのロリっ娘も拭かずにお尻だけ振ってパンツを履いていましたね。学校帰りで荷物を背負ったままだったり、雨で傘を差しながらだったり、団地に住んでいる間は嫌というほど野しょんは見放題でした。

その後、団地からマンションに引っ越すとともに野しょんを見る機会が激減してしまったのですが、寂しかったですね。ちなみに、団地の階段横に水飲み場ってよくありまたよね。

そこも、女の子達にとって絶好の野しょんスポットだったようですが、この話はまた今度にしますね。

**END**

## 第 23 話・石に向かってロリっ娘が立ちしょん

まだ学生だった私は、当時家から学校まで 30 分を掛けて歩いて通学をしていました。そして、当時団地住まいだった私は、同じ団地に住んでいたロリっ娘 1 名と男子 2 名で集団下校をしていたのです。帰り道には神社があり、休憩と遊びも兼ねて、下校の際はそこに寄るのが通例でした。

とある日、どうしてそういう状況になったのか忘れましたが、神社のでボス的な男の子の命令で全員が下半身裸になったことがあります。遊びの一貫、というかその男子がワレメとおち○ちんを見たかっただけのような。ボスの特権ですね、命令には逆らえずでした。私もロリっ娘も、そしてそのボスの弟も下半身すっぽんぽんに。恥ずかしかっただけで「隠すな！」という命令だったので、まあ従っていました。

そして、ボスは長い枝を持って下半身全裸でワレメ大公開のロリっ娘に近づき、枝を股の下に入れて「ほらち○こ生えたー！」などといって遊んでいました。今考えても意味不明ですね（笑）。でも、当時の私はその子のワレメは割と見ていたので別段興奮せずに、ああお兄さんバカだなあと笑っているだけでした。そのロリっ娘が立ちしょんをするまでは、遊びも終わり、私がパンツとズボンを履いて石に腰かけていると、しかしまだ下半身丸出しのままのロリっ娘（ロングヘアで細身）が私の眼前に立ちはだかり、そしてワレメを両